

報道関係者 各位

放送批評懇談会



発表！2021年10月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>



2021年10月度ギャラクシー賞月間賞

ドラマ 10「オリバーな犬、(Gosh!!) このヤロウ」

9月17日～10月1日放送 22:00～22:45

日本放送協会 NHKエンタープライズ MMJ

ユニークな発想が随所に見られるとともに、劇画的でスピーディーな演出、それでいて破綻しない構成が素晴らしい。表に出ている現象の裏には、壮大な物語があるということを見事に描き、見ていて近來になくワクワクした。豊富で豪華な出演者の動きすべてに神経が行き届いたオダギリジョーの演出が光る。続編にも期待したい。

水曜日のダウンタウン「おぼん・こぼん THE FINAL」

10月6日放送 22:00～22:54 TBSテレビ

2年前の「解散ドッキリ」だけで終わらせずに長期にわたって仲直りを試み、その過程を見事にエンターテインメントに昇華させた。意地とプライドが邪魔をして和解できない2人に果敢な“仕掛け”と必死の説得を繰り返す。「水曜日のダウンタウン」だからこそ撮れた緊張感と説明し難い人間の複雑な感情に溢れた人間ドキュメンタリーだった。

有吉クイズ

10月11日放送 24:15～24:45 テレビ朝日

切り口が独特のクイズバラエティとして番組自体も面白いが、特に有吉弘行が蛭子能収に会いに行く企画が素晴らしかった。認知症であると診断され、バラエティ番組への出演が見られなくなっていた蛭子との共演を望んだ有吉が再会を心から喜び、2人が会話を楽しんでいる場面に、バラエティ番組のこれからの可能性の一端を感じた。

連続テレビ小説「おかえりモネ」

5月17日～10月29日放送 8:00～8:15 日本放送協会

大震災発災時に島にいなかったという心の負い目から、森林組合や東京の天気予報会社でのモネの心の旅が始まる。水を通した自然の循環から人の生命のバトンタッチへと昇華していく経験のなかで、最後に明かされる妹の心の深い傷にも寄り添えるまでに至る。全体を通して統一したゆるがないメッセージがあり、珠玉のセリフも心に刺さった。

★詳細は月刊誌「GALAC」2022年1月号に掲載します